

30年度 学校評価 自己評価の分析とまとめ

I 教育目標・教育方針

当園の教育目標、教育方針は創立以来変わらないので職員一同理解して日常保育にあたっています。毎日行われている行進かけ足は、充実された実践活動のひとつです。しかしその他の一斉保育の時、教育目標、方針、に気を止めることなく保育活動をしている傾向があるので、常に自覚して保育に当たるよう指導していかなければならないと考えています

II 教育課程・指導計画

教育課程、指導計画については過去の資料を参考にして作成されていることが多いので、自主的に保育内容を見直し、職員間で話し合いながら、新たな取り組みができるようにしていきます。

当園では異年齢の合同保育が充実されているので、幼児期の特性を生かしながらこれからも内容の充実を図っていきます。

III 教育環境

教育環境については概ね整えられているとの自己評価だったので、今後も更に気を配り取り組んでいきます。

IV 教育内容・教育方法

教育内容、教育方法についても概ね達成されているとの自己評価でした。

V 教師の役割・資質向上

職員間で信頼関係を深めながら意見の交流が図られていないという評価結果を重く受け止め、今後一人ひとりの気持ちを尊重しながら、丁寧な人間関係を構築していかなければならないと思っています。

また、職員の園外研修が日常保育に役に立っていないという現状をどう受け止めたらよいのか検討課題とします。当職員は幼児の対応について信頼関係を深めながら保育に当たっていると自己評価しているので今後の資質向上に期待します。

VI 子育て支援

子育て支援事業については、現在出来る限りの事は実行され成果を上げているので、外部への情報発信を心掛けていきます。

VII 地域住民・関係機関との連携

小規模保育園との連携事業は形だけの連携で、何もやっていないのが現状です。その他の連携事業は、獅子舞、竹細工、郵便局、警察署等幼児の活動に還元してもらっています。

情報公開としてはホームページを随時更新して、園の様子が内部の人だけでなく、外部の人にも分かるように発信しているので園児募集にも生かされています。今後もホームページの内容がマンネリ化しないように情報発信していきたいと思えます。

VIII 運営・安全管理

勤務体制についてあまり満足されていないという現状をしっかりと受け止め改善策を検討していきたいと思えます。

安全管理については園舎内は管理が行き届いているが、園庭については管理が行き届いていないという意見があったので、今後役割分担を明確にして安全対策に臨みます。

総合自己評価まとめ

現在働いている職員は当園での職歴が長くなっており、仕事内容を把握している人が多い為、仕事の段取りが良く協力体制が整っています。しかし、その反面全体での話し合いが疎かになりつつあり、一人ひとり丁寧に話し合うことが出来なくなっています。保育の取り組みについても、自分の考えに自信を持ち、新しい保育を生み出していく姿勢を身に付けていくことが喫緊の課題になっていると思われます。現ベテラン教諭の資質を更に向上させてこそ、全教諭の保育の充実が図られると思うので、上に立つ管理職員の適切な指導をしていかなければならないと考えています。

学校評価の実施は今年度は2回目で、アンケート内容も昨年度とは少々異なるので、前年度との比較がしにくいのですが、自己評価については昨年度より今年度の方が厳しく評価している職員が多かったです。今後も全職員が協力しながら園全体のことを把握し、少しずつより良い幼稚園を作り上げていけるよう努力していかなければならないと思っています。